

第60期 第2四半期

株主通信

2019年4月1日～2019年9月30日

目次

株主の皆様へ	1
トピックス	3
サステナビリティの取り組み	4
連結業績ハイライト	5
株式情報	6
会社概要	7

コマニー株式会社

証券コード：7945

■株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。ここに、当社の第60期第2四半期（2019年4月1日から2019年9月30日まで）の事業の状況につきまして、ご報告申し上げます。

代表取締役 社長執行役員
塚 本 健 太



■当社を取り巻く情勢

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による各種経済政策の効果もあり緩やかな回復基調が続いておりますが、米中貿易摩擦など通商問題の動向が世界経済に与える影響や、海外経済の不確実性、金融資本市場の変動の影響に留意する必要があり、先行きについて不透明な状況で推移しました。

パーティション市場におきましては、主力となる首都圏オフィス市場において大型ビルの竣工による市場の活性化とともに、堅調な企業収益のもと、働き方改革に伴うオフィス環境の改善、合理化や省力化にむけた設備投資も背景に増加傾向で推移しました。

■売上高について

売上高は、物件毎の収益性にこだわった営業活動を推進したことに加え、国内市場において売上高の一部が下期にずれ込んだこと、また中国市場において前年同四半期は物件の完工時期が集中したことの反動もあり、143億47百万円（前年同四半期比7.3%減）となりました。

■損益について

売上総利益は、お客様への提案から受注、生産、施工までのムダの排除による業務の整流化を推進したことなどにより、売上総利益率は40.1%（前年同四半期比2.6ポイント増）となりましたが、売上高減少などの影響により、57億46百万円（前年同四半期比1.1%減）となりました。

販売費及び一般管理費は、中期経営計画の基本戦略に基づき、お客様接点の質の向上につながる営業から納入までのスキル教育を計画的に実行したことなどにより、57億78百万円（前年同四半期比1.5%増）となりました。

その結果、営業損失は31百万円（前年同四半期は営業利益1億16百万円）、経常損失は54百万円（前年同四半期は経常利益73百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は1億22百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益67百万円）となりました。

■今後の見通し

今後の見通しにつきましては、わが国経済は引き続き緩やかに回復していくことが期待されますが、依然として海外経済の動向や、更には相次いでいる自然災害による経済への影響にも留意する必要があると予測されます。

パーティション市場におきましても、引き続き需要が予測される中、当社グループといたしましては、お客様面談の量と質の向上を図るため社員のスキル教育を継続し、需要が見込める東京を中心に、高耐震間仕切Synchron（シンクロン）やユニバーサルデザイン商品といった当社の強みを活かした高付加価値商品の訴求により、お客様の安心・安全に貢献することで拡販を図ってまいります。

損益面につきましては、物件毎の収益管理の強化と、受注から納入までの業務の整流化を図ることでロスを徹底的に排除するとともに、業務のIT化推進などにより生産性を向上し、利益確保を最重点に置いて邁進する所存であります。

■中期経営計画

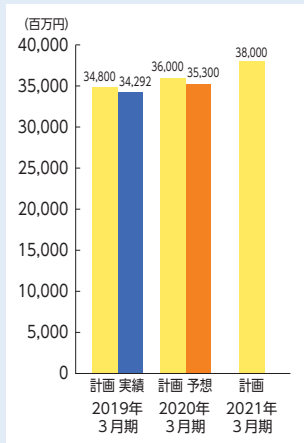
中期経営計画につきましては、2年目となる今期2020年3月期に、売上高353億円、営業利益22億50百万円、経常利益22億80百万円、親会社株主に帰属する当期純利益15億円を計画しております。

上期実績につきましては、売上高、営業利益ともに計画を下回りましたが、収益性の改善については確実に進んでおります。引き続き、高収益体質への変革と通期目標達成に向けて全社一丸となって取り組んでまいります。

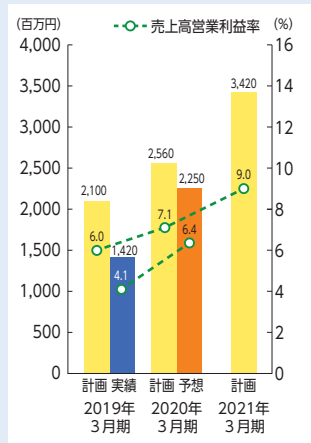
株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

■中期経営計画 2019－2021

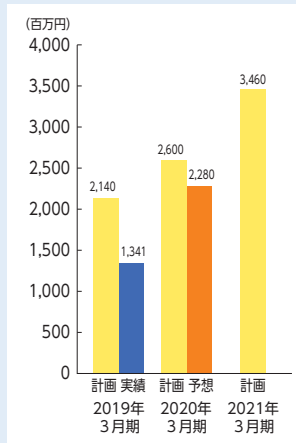
売上高



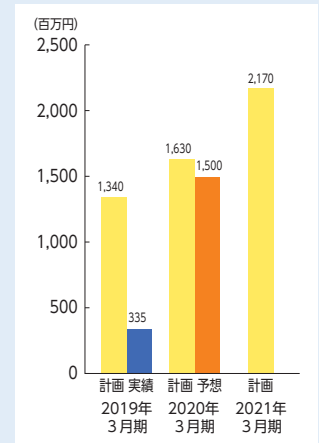
営業利益と売上高営業利益率



経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益





■『EUP-Synchron』にて 建設技術審査証明取得

2017年3月に研究発表・発売をした『Synchron』シリーズの『EUP-Synchron』にて、今年7月に一般財団法人日本建築センターの定める建設技術審査証明の取得をしました。

これは間仕切業界では初の証明取得であり、パーティションの耐震向上技術として認められました。

また、『Synchron』のこれまでの販売により、災害時リスク軽減人口^(※)として、約4万人を超える貢献ができております。

※『災害時リスク軽減人口』は当社納入分より算出

■『やさしいドア』シリーズが グッドデザイン賞受賞

病院・福祉施設向け中心に納入してまいりました『やさしいドア』シリーズが、2019年度グッドデザイン賞を受賞しました。

『やさしいドア』は木製のため、ぬくもりやあたたかさ、家庭的な雰囲気が高齢者に安らぎや安心感をあたえます。

これに加えて施設の方や利用者の声に徹底して寄り添い、さまざまな工夫・改善を施し追求してきた取り組みが高く評価されて受賞にいたしました。

これからも「やさしい」空間づくりを目指し、使い手に寄り添った商品づくりで世の中に貢献していきます。



■ サステナビリティの取り組み

■ 石川県小松市とパートナー協定を締結

当社はSDGs（持続可能な開発目標）の推進によってより良い未来を創造するべく、小松市とお互いの強みや資源を活かし、協力していく「SDGs推進に関するパートナー協定」を締結しました。（2019年6月27日）



この協定を通して、誰でも心地よく過ごせる空間創りや、環境、防災などの各分野の課題解決を通して、SDGsが目指すより良い社会の実現を推進していきます。

■ 再エネ100宣言RE Actionへ加入



当社は、消費電力量10GWh未満の企業を対象としたイニシアティブ「再エネ100宣言RE Action（アールイー・アクション）」に初回参加団体として加入しました。

（2019年10月9日）



現在は太陽光パネルの設置による環境保全に取り組んでおり、総計1MWhの発電能力で、全社の電力使用量の17%に相当する発電を行っています。今後は、2040年までに自社再生可能エネルギー割合100%を目指し、地球環境の保護を推進していきます。

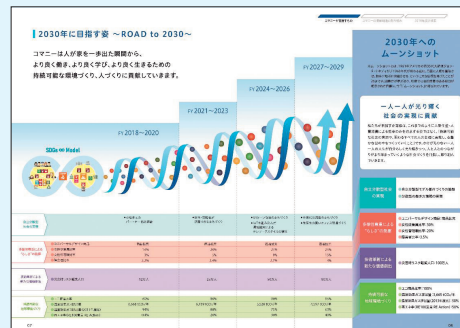
■ コマニーグループ統合報告書 2019を発行



今年は「コマニーグループサステナビリティレポート」に変わり、従業員やお客様、投資家様、地域社会などあらゆるステークホルダーを対象としたコミュニケーションツールとして、「コマニーグループ統合報告書2019」を新たに発行しました。

▲コマニーグループ統合報告書2019

<https://www.comany.co.jp/sdgs/report>



コマニーグループは新たな価値を創出する企業づくりに向けた「変化への挑戦」に取り組んでおり、この統合報告書は、価値創造モデルと目指す姿を、取り組みの具体事例を交えて分かりやすく紹介することを目的に作成しました。

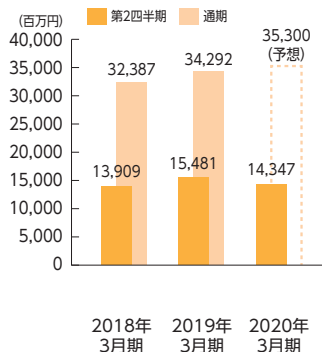
当社は今後も、すべてのステークホルダーの皆様との対話を大切に、企業経営を行っていきます。

■ 連結業績ハイライト [2020年3月期 第2四半期連結累計期間 (2019年4月1日～2019年9月30日)]

売上高

143億47百万円

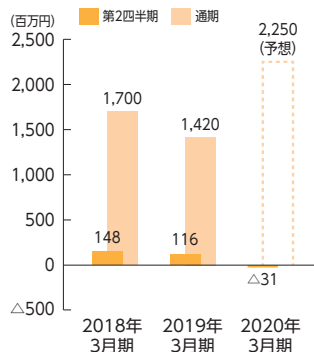
(前年同四半期比 7.3%減)



営業利益

△31百万円

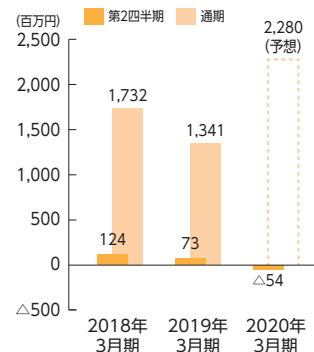
(前年同四半期比 1億48百万円減)



経常利益

△54百万円

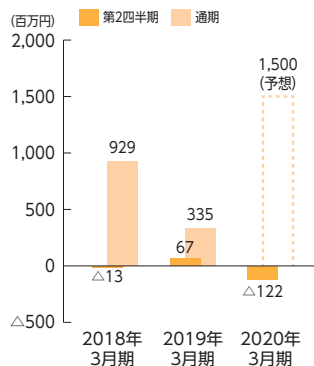
(前年同四半期比 1億27百万円減)



親会社株主に帰属する 四半期 (当期) 純利益

△1億22百万円

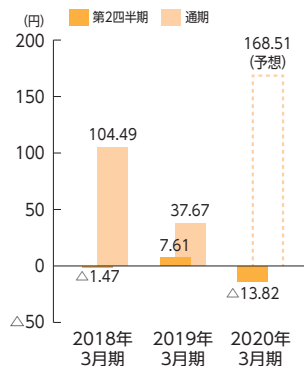
(前年同四半期比 1億90百万円減)



1株当たり 四半期 (当期) 純利益

△13円82銭

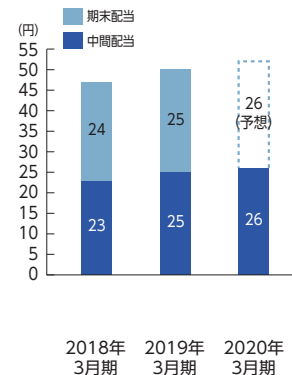
(前年同四半期比 21円43銭減)



配当

1株につき26円

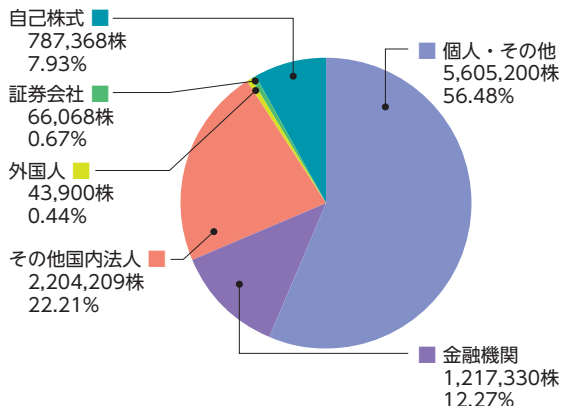
(前年同四半期 1円増)



■ 株式情報

●株式の状況 (2019年9月30日現在)

発行可能株式総数 36,000,000株
 発行済株式総数 9,924,075株
 単元株式数 100株
 株主数 2,824名



●大株主／上位10名 (2019年9月30日現在)

株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
株式会社コマツコーサン	923,300	10.10
コ マ ニ ー 共 栄 会	697,351	7.63
コマニー従業員持株会	657,955	7.20
株 式 会 社 北 陸 銀 行	444,002	4.85
吉 田 敏 夫	265,500	2.90
株 式 会 社 北 國 銀 行	260,000	2.84
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	233,928	2.56
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	223,300	2.44
木 村 直 子	223,296	2.44
塚 本 幹 雄	217,000	2.37

(注) 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月開催

基準日 定時株主総会・期末配当 毎年3月31日
 中間配当 毎年9月30日

上場取引所 株式会社東京証券取引所
 株式会社名古屋証券取引所

公告方法 電子公告
 但し、事故その他やむを得ない事由によ
 って電子公告による公告ができない場合
 は、日本経済新聞に掲載いたします。

公告掲載URL <https://www.comany.co.jp/>

証券コード番号 7945

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社

特別口座の
 口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063
 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎ 0120-782-031

(インターネット
 ホームページURL) <https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

配当金のお支払い
 に つ い て 配当金は、当社定款の定めにより、支払
 開始の日から満3年を経過するとお支払い
 ができなくなりますのでご注意ください。

■ 会社概要

●会社概要 (2019年9月30日現在)

社 名	コマニー株式会社 (英訳名 COMANY INC.)	資本金	7,121百万円
本 店	石川県小松市工業団地一丁目93番地	従業員数	(連結) 1,499名 (個別) 1,097名
設 立	1961年8月18日	主な事業内容	パーティション(間仕切り)の開発、設計、製造、販売および施工ならびにパーティション関連の内装工事、建具工事

●役員 (2019年9月30日現在)

取締役および監査役

代表取締役
会長執行役員 塚本 幹雄
代表取締役
社長執行役員 塚本 健太
取締役
副会長執行役員 塚本 清人
取締役
専務執行役員 堀口 勝弘
取締役
専務執行役員 篠崎 幸造
取締役
常務執行役員 元田 雅博
取締役
常務執行役員 松永 達雄

社外取締役 中川 俊一
社外取締役 菊地 義信
社外取締役 吉村 美紀
常勤監査役 川口 幸一
常勤監査役 北村 秀晃
社外監査役 松垣 哲夫
社外監査役 鎌田 竜彦

執行役員

常務執行役員 滝ヶ浦信一 執行役員 坂本 豊伸
常務執行役員 木村 繁美 執行役員 中島 力
常務執行役員 塚本 直之 執行役員 松下 和明
常務執行役員 東木 太志 執行役員 花木 茂晴
執行役員 浅日 俊行 執行役員 村上謹士郎
執行役員 道源 浩 執行役員 伴場 秀文
執行役員 本田 正 執行役員 田中 克政
執行役員 芋塚 務

●ウェブサイトのご案内

当社はウェブサイトにおいて、製品情報、決算情報や、各種IR資料を掲載しております。

<https://www.comany.co.jp/>



●Facebookページのご案内

Facebookでも当社の情報を掲載しております。

<https://www.facebook.com/comany.co.jp/>



●コマニーグループのサステナビリティに関するウェブページのご案内

サステナビリティに関する取り組みについて情報を発信しております。

<https://www.comany.co.jp/sdgs/>



コマニー株式会社

